

出向者 派遣者紹介



三重県消防学校派遣 佐藤 昭人

私は、平成十八年四月から二年の任期で鈴鹿市に在る三重県消防学校へ出向しています。

消防学校は、県の防災危機管理部に属し、学校長以下十六名の職員で組織されています。学校では消防職員・消防団員及び消防関係者等に対して、消防教育訓練を実施し、消防力の維持向上を図り、もって、県民の『安全・安心』の確保に貢献する。と言う使命のもと、有り余る体力となげなしの知識を駆使して連日奮闘しております。

学校に来てから早や一年四ヶ月が経ちました。昨年は訳も分からず、一年間無我夢中で過ごし、気がつけば一年が終わっていました。今年も落ち着いて取り組んでいます。今と四月に初任科生八十六名を迎え入れましたが、想いとは裏腹に相変わらずバタバタしながら連日の猛暑の中、学生と共に汗を流し訓練に取り組んでいます。

十二月には初任科生が卒業し、それぞれの消防本部へ巣立っていくこととなりますが、現在の学校では、校訓の『規律・忍耐・信頼・創造』と共に『現場で即戦力として活動できる技術・知識・体力』『情熱と信念を持ったプロの意識』『常に考える力』を身に付けさせ各消防本部へ送り出したいと思っています。



三連はしごを使用して救出救助訓練を行う消防職員初任科生(三重県消防学校にて)

また、秋から年度末にかけては専科教育が約十課程実施され、初任科生とは違った緊張感の中で教育訓練を進めて行くことになりました。

残された八ヶ月間で少しでも県民・市民の『安全・安心』の確保に貢献できるように努力していきたいと思えます。



救急救命士より、心肺蘇生法とAEDの指導を受ける婦人防火推進委員(7/27 津リージョンプラザ健康教室にて)

津市婦人防火推進委員会(須山美智子委員長・会員七十名)は、津市婦人会連絡協議会の特別委員会として、地域に密着した防火啓蒙活動を行っており、七月二十七日には、津リージョンプラザにおいて定期委員会を開催しました。同委員会では、平成十九年度の事業計画について審議承認され、引き続き出席者全員に配布した「人工呼吸用携帯マスク」の取り扱いを含む心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用方法について、救急救命士の指導のもと、真剣な表情で研修を受けていました。

新・津市のシンボル決定! 花 ツツジ 木 ケヤキ 鳥 ウグイス



ケヤキ



ウグイス



ツツジ

津市の「花・木・鳥」が決定しました。花は「ツツジ」、木は「ケヤキ」、鳥は「ウグイス」です。同市の「花・木・鳥」は、市民から募集して、三百一人から応募があり、市民と有識者で構成する津市の花・木・鳥選考委員会では選ばれました。選考理由は、ツツジは、偕楽公園や青山高原などの他、市街地でも多く見られること。ケヤキは、大きく逞しく育つ姿が、市の未来を象徴するとされ、美杉町内には、三重県の天然記念物に指定されているものもあること。また、ウグイスは、市内に広く生息しており、市民に親しまれていることです。